



指宿市立 指宿小学校

児童数	290 人
学級数	14 クラス



テーマ

自分と友達のよさを認め、自己肯定感を高める取組

研究に当たって（テーマ設定の理由）

本校では、明るく元気に友達と学校生活を送っている児童が多い。一方で、相手の気持ちを考えられなかったり、相手を傷つけるような言葉遣いが多かったりすることが課題であった。そこで、アンケートで児童の実態を見つめ直すと、「自己肯定感」が低いことが、大きな要因の一つではないかということが分かった。そこで、本年度は、児童が友達と互いを認め合い、共感的な関係づくりを通して、自分のよさを認められるような児童の育成を目指すことにした。

研究スケジュール

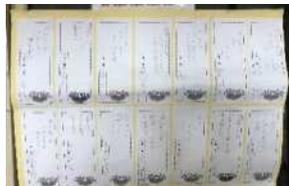
8月3日（月） 職員研修
「児童の自尊感情について」
9月2日（水）～9日（水）
いじめ問題を考える週間
11月5日（木） 人権教室
12月7日（月）～12日（土）
校内人権週間
12月9日（水） 人権集会
12月14日（月） 職員研修
「人権教育を進めるポイント」
※「学校楽しいーと」の年3回の実施

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

- 人権教室の実施**
県教育庁人権同和教育課から指導主事を講師として招へいた。低・中・高学年に分かれ実態に合わせて、「リフレーミング」等の活動を通して人権を守ることの大切さについて学んだ。
- 人権標語の作成**
9月の「いじめ問題を考える週間」に合わせて、人権標語を作成し、全校児童分を廊下に掲示した。
- 人権集会**
各学級の代表児童がクラスで作った人権宣言を、人権集会で発表した。また、各クラスの人権宣言は、児童玄関に常時掲示した。
- ありがとうの木**
友達のよさや、うれしかったことを葉っぱに書き、各学級に「ありがとうの木」として掲示した。
- 読書活動での取組**
校内放送で人権に関する本の読み聞かせを行った。人権週間では、人権の本コーナーを設置した。



【人権教室】



【人権標語】



【人権集会】



【ありがとうの木】



【人権の本コーナー】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたい）

- 職員研修では、「仲間づくり」「なくそう差別 築こう明るい社会」を活用しながら、教師自身の人権感覚を振り返り、児童が安心して過ごせる学校づくりについて職員全体で考えることができた。
- 全校児童で、「人権標語の作成」や「ありがとうの木」作りに取り組むことで、友達への共感的な態度や雰囲気が見られるようになった。
- 「学校楽しいーと」では、学期ごとに自己肯定感の高まりが見られるようになった。